

Hello Doctors  
新規採用医師紹介

<p><b>第三外科</b></p> <p>ヒラハラ ノリユキ 平原 典幸</p> <p>消化疾患を中心に腹腔鏡を用いた「優しい医療」を行っています。「医療の主体は患者様」であり、最善の医療を受けられるよう診療をさせていただきます。</p>	<p><b>第二耳鼻咽喉・頭頸部外科</b></p> <p>ナカムラ ヨウスケ 中村 陽祐</p> <p>4月1日に着任いたしました。以前、数年間勤務させていただいたことがありますが、地域の皆様の健康に少しでも貢献できますように、努力いたします。</p>	<p><b>糖尿病・内分泌内科</b></p> <p>カネツキ エミコ 金築 絵美子</p> <p>4月より糖尿病・内分泌内科で勤務しております。金築と申します。少しでも地域の皆様に寄り添った医療ができるよう努めます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>	<p><b>腎臓内科</b></p> <p>スズキ トモコ 鈴木 知子</p> <p>今年度から腎臓内科に勤務します。松江のリウマチ、膠原病診療に少しでも貢献できるよう日々精進していきます。よろしくお申し上げます。</p>
<p><b>腎臓内科</b></p> <p>モリヤマ シホ 森山 志保</p> <p>この度、腎臓内科医として赴任いたします。出雲市出身です。地元の医療に貢献できるよう日々努力していきます。よろしくお願いいたします。</p>	<p><b>消化器内科</b></p> <p>ハセガワ ノブアキ 長谷川 修明</p> <p>消化器内科の長谷川修明と申します。島根県出身であり島根の医療に貢献できることにとってもやりがいを感じております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>	<p><b>精神神経科</b></p> <p>イセキ ヒロマサ 井関 大勝</p> <p>医師3年目、精神科医としては1年目になります。松江市の医療に貢献できるように頑張っております。よろしくお願いいたします。</p>	<p><b>脳神経内科</b></p> <p>ホンダ マコト 本田 誠</p> <p>4月より脳神経内科医として赴任して参りました本田誠と申します。皆さまのために頑張っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p><b>第一循環器内科</b></p> <p>フジタ カイ 藤田 佳委</p> <p>この春から循環器内科に赴任いたしました。地元である松江の医療に貢献できるよう尽力いたします。よろしくお願いいたします。</p>	<p><b>第三外科</b></p> <p>ワタナベ ジョウ 渡辺 青</p> <p>4月から赴任して参りました渡辺青と申します。皆様にとって安心、安全な医療を提供できるよう努めて参ります。</p>	<p><b>整形外科</b></p> <p>シゲタカ トモヒロ 重高 智弘</p> <p>患者様の声にしっかりと耳を傾け、適切な医療を提供できるよう心掛けて参りますので、よろしくお願いいたします。</p>	<p><b>脳神経外科</b></p> <p>マエダ ユウゴ 前田 祐吾</p> <p>広島県の4病院で勤務し、この度当院で勤務させていただくこととなりました。初めての島根県で分からないことばかりですが一生懸命頑張ります。</p>
<p><b>呼吸器外科</b></p> <p>オオノ タカシ 大野 貴志</p> <p>呼吸器外科の大野貴志と申します。松江には2年ぶりに帰ってきました。医は仁術、思いやりを持った医療を大切にしています。ネコが好きです。</p>	<p><b>心臓血管外科</b></p> <p>ヤマネ カズマ 山根 和真</p> <p>心臓血管外科の山根和真です。一人一人に寄り添った治療を目指しています。丁寧な説明を心がけていますので分からない事があればおたずね下さい。</p>	<p><b>泌尿器科</b></p> <p>ハセガワ アキラ 長谷川 央</p> <p>一人一人の患者さんと向き合い、その人に合った医療を提供していきます。</p>	<p><b>眼科</b></p> <p>タカナシ ナオ 高梨 菜穂</p> <p>鳥取大学で眼科医として経験を積み、春から地元である松江に戻ってこられたことを嬉しく思います。患者さんの声に耳を傾けられる医師でありたいです。</p>
<p><b>麻酔科</b></p> <p>ワカヤマ カズアキ 若山 和明</p> <p>患者さま・御家族さまから元気をいただいていることに感謝し、少しでも皆様のお役に立てるよう尽力させていただきます。</p>	<p><b>病理診断科</b></p> <p>カタオカ ユウコ 片岡 祐子</p> <p>皆様と直接お会いする機会はあまりありませんが、病気を顕微鏡で見ることでよって確実な治療ができるよう、陰ながらサポートさせていただきます。</p>	<p><b>歯科口腔外科</b></p> <p>オガワ ノブフミ 小川 修史</p> <p>一人一人に寄り添う医療をモットーに、安心して受診できる口腔外科医となれるよう精進します。</p>	<p><b>呼吸器外科</b></p> <p>ナカムラ ヒロシゲ 中村 廣繁</p> <p>本年4月から呼吸器外科医として勤務いたします。低侵襲手術センター長も拝命しましたので、安全・安心の最先端手術を皆様に提供したいと思います。</p>



## 災害に向き合う

### 石川県珠洲市で活動した医師に聞く

被災地の現状は報道でイメージしていたよりもはるかに深刻な状況でした。ライフラインの復旧もままならず、半島での災害という「特異性」から支援が中々進まない現状がありました。現地の医療従事者は昼夜問わず奔走しており、人手不足も明らかでした。我々は主に病院支援を担当し、病院機能の存続・患者搬送・病院職員の負担軽減の任に当たりました。

改めて災害時の医療活動の難しさを痛感するとともに、平素よりの備えや訓練が何より重要であると再認識致しました。当院でもBCPに沿った全職員参加型の災害訓練を定期的実施する必要があると考えます。今回の活動においてSNS等で励ましの声や、多大な御支援を賜りました。この場を借りて感謝を申し上げますと共に、引き続きDMATの活動に御協力頂ければ幸いです。

統括DMAT医師 田中 航 (1月7日出動)



TSKさんいん中央テレビ局にて取材に応じる田中医師

- 病院理念……わたしたちは、『人道』の赤十字精神に基づき地域の医療に貢献します。
- 基本方針……
  - ① 地域の基幹病院として、説明と同意に基づく「高度」「良質」な医療を提供します。
  - ② 急性期病院として保健・医療・福祉・介護機関との連携を進め、最善の医療を行います。
  - ③ 救急病院として24時間地域の健康を守ります。
  - ④ 赤十字病院として災害救護に貢献します。
  - ⑤ 教育病院として次世代の医療人を育てます。

**+** 松江赤十字病院『患者さまの権利』

- ひとりの人間として人格と価値観を尊重される権利があります。
- 医療提供者との相互協力のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
- 検査・治療法などの自分が受ける医療の内容について、わかりやすい言葉や方法で説明を受ける権利があります。
- 説明を十分理解し同意した上で、医療行為を受けるかどうか自分の意志で選択する権利があります。
- 医療行為の選択にあたって、他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
- 診療の過程で得られた個人情報は、個人の秘密として厳正に保護され、承諾なしには開示されない権利があります。
- 自分が受けている医療内容を知るために、診療録の開示を求める権利があります。

私たちが、上に掲げた患者さまの権利を尊重した医療を提供するために、患者さまには次のことをお願いいたします。

- ① 自分の健康に関する正しい情報の提供
- ② 医療への積極的な参加
- ③ 病院の規則を守ること
- ④ 研修医、医学生、看護学生などの研修・実習・見学への理解と協力



## 被災地へ医療支援

能登半島地震では延べ25名の職員を被災地へ派遣しました。



### 日赤救護班

全国の赤十字各施設で「日赤救護班」を編成しています。有事の際は日本赤十字社本社と各県支部・医療施設等が連絡を取り合い、被災地への隊員派遣を決定します。被害規模に応じ支援の輪を広げていく指揮命令系統が赤十字の強みです。

◀ 公立能登総合病院へ向かう日赤救護班



### DMAT (災害医療派遣チーム)

厚生労働省が管轄となり、各自治体を通じ派遣要請されます。全国の災害拠点病院では研修で適格と判断された者がDMAT隊員として任命され、毎年大規模な訓練を繰り返し、発災直後に活動できる体制を整えています。

※当院のDMAT隊員 18名 (R6.3月時点)

◀ 受け入れ可能な病院へ患者搬送するDMAT隊員 (石川県珠洲市)

## それは災害救護への貢献です



七尾市能登総合病院で活動中の日赤救護班

### 日赤救護班とDMATの違いは？

現地での活動内容に大きな違いはありません。DMATは発災から48時間(超急性期)活動することになっていますが、能登半島地震においては被害の全容把握に時間がかかったこともあり、1カ月を超えて支援を行いました。日赤救護班は決まった活動時間はなく、超急性期から活動を開始し、被災地のニーズに合わせて活動範囲を広げていきます。当院には日赤救護班・DMAT隊どちらも配備しています。



## 災害を想定した訓練

### 院内でのエリア設営訓練



当院が災害の中心地域となった場合に備え、訓練を定期的に行っています。今年は1階ホスピタルモールにて中等症患者エリアの設営訓練を行いました。

### 避難所設営訓練



屋外での患者受け入れを想定し、避難所設営訓練を定期的実施しています。

## 災害に備えた備蓄品

### 被災地支援



日赤島根県支部など日赤各施設が協力し、避難所等に毛布や安眠セットを届けます。

### 安眠セット



キャンピングマット、枕、スリッパなどが一袋に入っています。

### 食料



入院患者さんと職員用に約3日分の食料・飲料水を院内に備蓄しています。

### 備蓄食料



## 院内の防災設備



### 地震対策



建物全体が免震構造になっています。免震ゴムにより建物が支えられており、このゴムが地震の揺れをゆるやかにします。

### 水害対策



病院の外周を防潮板で囲い、院内への浸水を防ぎます。また、地下に侵入した雨水を地上へくみ上げるポンプを設置しています。

### 原子力災害対策



汚染空気が外から入らないよう、建物内の気圧を高めます。さらに気密化を図るため、院内の防護区画の出入り口を封鎖します。(防護区画は院内全体ではありません)

### 停電対策



被災時の停電に備え、発電機を整備し、燃料となる重油を約3日分蓄えています。